

編集・発行 徳之島町役場 企画課 〒891 7192鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203
TEL (0997) 82 1111(代) FAX (0997) 82 1101
ホームページアドレス <http://www.tokunoshima-town.org/>

炊き立て黒砂糖と演芸で大賑わい

第20回黒砂糖まつり



5月5日、畦プリンスビーチにおいて第20回黒砂糖まつりが開催され多くの人でにぎわいました。

今月の一言 ことわざ (井之川のテーキ話より)

うやうが かみうが
親 拝で **神** 拝め

「親を拝んで次に神様を拝みなさい」ということで、目の前にいる親を大切にできぬ者が神を拝んでみても何の功德もないという意味で、親孝行の大事さを言ったテーキ。

今月の主な内容

黒砂糖まつり写真特集	P 2 ~ P 3
まちの話題	P 4 ~ P 6
教育委員会だより	P 7
お知らせコーナー	P 8 ~ P 9
徳之島の偉人紹介・戸籍の窓	P 10

・海開き写真特集



写真1 サタヤドリ（砂糖小屋）では、昔ながら製法でキビ汁を煮つめ、黒砂糖を製造

5月5日のこどもの日に、徳之島町の畦浦リンスピーチ広場で「第20回黒砂糖まつり」が開催されました。

同日は、畦浦リンスピーチ海水浴場の海開きも行われ、島内外からたくさんの方々が家族連れなどが訪れ、多彩なイベントや演芸を楽しんでいました。

ここに第20回黒砂糖まつりを写真特集でお届けします。



写真2 サタグンマを牛に引かせてキビ汁を絞ります。このような光景は昭和36年ごろまで見られました。



昔ながらの黒砂糖の作り方

刈り取ったさとうきびをサタグンマ（砂糖車）で搾ります（写真2）



サタグンマで搾ったキビ汁に石灰を加え、サタヤドリ（砂糖小屋）で煮つめます。（写真1）時々アクを取りながら、色が黒っぽくなるまで煮つめます。焦げないように注意します。

煮つめたキビ汁を鍋などに移し、木の棒でかき混ぜ冷やします。（写真3）

冷やし固めるとおいしい黒砂糖の出来上がり。（写真4）



写真3 棒でかき混ぜ冷やします。



写真4 できたての黒砂糖に大行列

第20回黒砂糖まつり

多彩な演芸とイベントで
ステージも大盛り上がり！



元気いっぱいダンスコア



亀津小学校吹奏楽部



徳之島高校音楽部による合唱



澤愛香さんの島唄



何が当たるかな？お楽しみ抽選会



フラダンス ダ・チャーム



海開き



宝さがしに夢中！



海での安全を祈願



海開きのテープカット
も行われました





地域安全キャンペーン

4月17日、徳之島警察署において「守ろう！子どもの安全キャンペーン」（徳之島警察署主催）が行われました。

春の地域安全運動の一環として行われた同イベントには、町内の保育園児や一般の幼児、保護者らが多数参加。女性警察官による「いかのおすし」の紙芝居で危険な目に合わないための約束をしました。

また、こども用の警察官制服の着用体験やパトカーや白バイへの乗車体験、徳之島初の警察犬の訓練の披露など警察官気分になれる内容で、幼児のみならず保護者にも大盛況でした。



大人気の制服着用体験

交通ルールを守ろうね

4月22日、母間小学校（竹迫正美校長 児童数54人）にて交通安全教室が開かれました。

交通安全教室では、徳之島警察署の警察官と徳之島交通安全協会指導のもと、横断歩道の正しい渡り方や、自転車の正しい乗り方・点検方法などを学び、校庭に描かれた横断歩道を使って実際に横断歩道を渡ったり、自転車を運転するなど正しい交通ルールを学びました。

この交通安全教室は、毎年入学と重なるこの時期に、児童生徒に正しい交通ルールとマナーを学んでもらおうと、交通安全協会や役場総務課、徳之島警察署の協力を得て実施されています。



横断歩道正しく渡れるかな？

いつまでも若々しく

4月25日、町文化会館において、徳之島町老人クラブ連合会（貞勝仁会長）総会、「第16回しじゅうにこにこフェスティバル」が行われました。

総会は、「創造と連帯の輪を広げて心豊かな21世紀を」をメインテーマに、千田静江副会長の開会宣言に始まり、貞会長があいさつ。来賓祝辞に続いて、県老連会長大西早苗氏が「限られた時間を楽しく生きるためには老連の意識改革を。誇りを持って活動することが大切」と講和しました。

協議に続いて行われた芸能発表では、東区の「仲良く音頭」を皮切りに、集落ごとに工夫をこらした歌や踊りといった楽しい出し物で交流を深めました。



北区単老による「敬老の歌」

地域女性連総会

5月1日、平成21年度町地域女性団体連絡協議会総会（吉田サエミ会長）が町生涯学習センターにて行われました。

総会には、各地区から約80人が出席。吉田会長は「マイバック運動が浸透してきているが、まだまだレジ袋に頼っている。女性連が率先してマイバック運動の推進を」とあいさつ。来賓挨拶に続き議事では、平成20年度の事業・決算報告、平成21年度予算等を承認。今年度の実践事項を「組織の充実活性化・地域高齢者の見守り運動・地域セミナーの実践・新生活運動への取り組み」と掲げ、今年度の活動のスタートを切りました。



たくさんの会員が出席しました。



語り継ぐことの大切さ 富山丸慰霊祭

太平洋戦争末期の昭和19年6月29日に沖繩へ将兵・物資補給のため徳之島町亀徳沖航行中、米潜水艦の魚雷攻撃を受けて沈没した輸送船「富山丸」（七千三百八十九トン）の犠牲者を弔う第46回富山丸戦没者慰霊祭が、4月24日なごみの岬公園で行われました。

今年も全国各地から、妻や子、孫といった遺族94人が来島。前日から船で富山丸の航跡をたどり、24日朝には亀徳沖の沈没地点で海上慰霊祭も行われました。

午後からの慰霊祭は、亀徳小学校の「千の風になつて」の合唱ではじまり、高岡町長が「悲惨な歴史の事実を後世に語り伝え、平和を願う心

を広げていきたい」、杉田明傑参拝団長が「二度とこのような不幸が起きないよう、戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継いで、平和の構築に努めたい」と慰霊の詞を述べました。続いて神之嶺小学校6年の春山遥平君が昨年慰霊祭に参加した感想を「慰霊祭で学んだことを胸に戦争のない平和な世の中を作っていく」と述べ、遺族や地元関係機関代表など約200人が献花して、戦争を二度と繰り返してはならないと平和への思いを新たにしました。

翌日は、初の試みとして鳥唄と夜光貝のアクセサリー作りの体験交流会が行われ、島ならではの体験に参加者した方たちは大喜びでした。



新たな未来へ 薩摩藩奄美・琉球侵攻400年記念事業

1609年、薩摩藩の琉球侵攻により奄美諸島は薩摩の直轄領となりました。その奄美・琉球侵攻400年の節目の年に歴史を振り返り、新たな道しるべとしていくための記念事業が行われました。

4月15日には、亀徳の秋津神社で神事が行われ、関係者が参列する中、秋徳湊の戦いで命を落とした戦没者の冥福を祈りました。

5月2日には、記念講演・記念シンポジウムが町文化会館で開催され、満員の人で埋め尽くされました。

開会行事では、島津家第32代当主島津修久氏が挨拶。奄美の独自の文化を称え「これからも友好交流の輪を広げていきたい」と述べました。

記念講演では、奄美郷土研究会の弓削政己氏が「薩摩藩による直轄支配と冊封体制の奄美諸島」を演題に講演。続くシンポジウムでは、徳之島高校の吉満庄司先生をコーディネータに、弓削政己氏、鹿児島大学教授の原口泉氏、琉球大学名誉教授金城正篤氏、琉球大学教授高良倉吉氏、徳之島郷土研究会幸多勝弘氏をパネリストに迎え、「未来の道しるべ 薩摩藩奄美・琉球侵攻400年を再考」をテーマに、各分野の専門的知識を交えながら活発な意見交換がなされました。

満員の会場の中、400年の節目の年に新たな未来への一歩を踏み出しました。





ゴルフで九州大会出場

亀津小学校3年生の秋丸昌也君が4月2日に霧島市で行われた県の予選会を見事通過し、7月22日に熊本で開かれる第3回九州小学生ゴルフ大会へ鹿児島県選抜として出場することになりました。小学生のゴルフでの九州大会への出場は徳之島町では初となる快挙です。

秋丸君は、自分からゴルフに興味を持って始めたそうで、学校の勉強の合間を縫って週3回練習に励んでいるということです。

徳之島町から未来のプロゴルファーが誕生するかもしれません。
秋丸昌也君頑張ってください！



ガッツポーズの秋丸昌也君

ヤンキチシキバンの精神

徳之島町は、かつて旧帝国大学出身者を多数輩出した「学土村」として有名ですが、その「ヤンキチシキバン」の教育を現在に受け継ぐと、徳之島町「学土村塾」の開講式が5月9日、町生涯学習センターにて行われました。

開校式には、塾生や保護者、関係者ら約100人が出席。秋武教育長の式辞、高岡町長の祝辞に続いて、亀津中学校3年清美里さんを代表に塾生全員で誓いの言葉を斉唱しました。

これから塾生138人は、毎週土曜日の午前中、6地区に分かれ、公民館等で自主学習を進めていきます。



たくさんの塾生と保護者が出席

母の日運動会

徳之島町地域女性団体連絡協議会（吉田サエミ会長）の第35回町地域女性連運動会が「母の日」の5月10日、町体育センターで行われ、町内10チームが参加し、多彩なスポーツやゲーム、応援合戦などで楽しい一日を過ごしました。

大会は、年代別の徒走に始まり、来賓も参加の風船を膨らまして2人で割る「ワキアイアイ」、ラグビーボールを竹ホーキで掃いて4人でトラックを一周する「お母さんは忙しい」など、趣向を凝らしたプログラムで終日大盛り上がりでした。

今年は、中区チームが優勝、躍進賞に北区が輝き、チームの団結力を見せつけました。



倒さないよう慎重に「置き換え」

徳三宝杯柔道選手権

4月26日、徳之島高校柔道場において第8回徳三宝柔道選手権大会が開催されました。

徳之島出身の柔道家「徳三宝」の名を取った同大会は9年ぶりの開催。奄美と沖永良部からも多数のチームが参加し、熱戦が展開されました。

徳之島関係の入賞者は左記の通り

【団体戦】

1位 徳之島高校

【個人戦】

少年団の部（1年～2年生）

2位 白松 俊亮（亀津小）

3位 仲 泰利（亀津小）

少年団の部（5年～6年生）

3位 吉田 冬移（亀津小）

中学校の部（60kg以上）

3位 東 優志（亀津中）

高校の部（軽量級）

2位 清 亮太（徳之島高校）

3位 久 剛志（徳之島高校）

高校の部（中量級）

2位 新田 雄作（徳之島高校）

3位 白山 拓也（徳之島高校）

高校の部（重量級）

1位 永浜 和幸（徳之島高校）



教育委員会だより

いよいよ学士村塾開講！

平成21年5月9日(土)に、学士村塾の開講式がありました。いよいよ、学士村塾のはじまりです。

この学士村塾は、子どもたちの自学自習の習慣をさらに定着させ、学力向上を図る一つの機会として設置されました。

学校週5日制の土曜日の有意義な過ごし方や異年齢集団での助け合い学習、家庭や地域の教育熱の再興といった面からも、大変期待されている事業です。



たくさん子どもや保護者が参加しました。



各教室ごとに分かれ、説明を聞いている子どもたち

どんなことをするの？

学士村塾は、基本的には自学自習です。指導者がプリントや問題を用意することはありません。自分で学習を進める習慣を身に付けさせることを目的としています。

そこで、塾生は、学校で出された課題や、お家にあるドリル・問題集などを持ち寄り、学習していくこととなります。分からないところは、指導者に聞いたり、友達や先輩に教えてもらったりして取り組んでいきます。学士村塾用のノートなどの準備をするとよいかもしれません。

地域で子どもを育てるすばらしい活動ですので、今後ともよろしく願いいたします。

あたりまえのことがあたりまえにできる学校

徳之島町立東天城中学校

本校は、平成20年11月9日に250名以上の参加をいただき創立50周年記念式典を終えました、全校生徒64名の中学校です。「時間のけじめ」・「動と静のけじめ」を心がけ、「心のこもったあいさつの響く学校」・「あたりまえのことがあたりまえにできる学校」を目指しています。



50周年記念碑

【特色ある教育活動】

1 学力向上タイム

毎日6校時後に、15分間の繰り返し学習(5教科:国・社・数・理・英)を全生徒・全教職員で取り組んでいます。

基礎的・基本的内容の復習を中心に、疑問点は気軽に質問できる雰囲気の中で学力向上を目指しています。

2 生徒会自主活動

毎朝8時から10分間を、花壇の手入れや廊下清掃等の生徒会自主活動として、ボランティアサービス活動に取り組んでいます。落ち着いた環境で学習に取り組めるよう、全生徒・全教職員で汗を流します。

学力向上タイム



お知らせ コーナー

戦没者ご遺族の皆様へ

戦没者の遺族に対する特別弔慰金（第九回特別弔慰金）が支給されます。

主な支給対象者

平成17年4月1日から平成21年3月31日のあいだにおいて、恩給法による公務扶助料や戦病者戦没者遺族等援護法による遺族年金等を受ける方（戦没者等の妻や父母等）が亡くなるなどしたことにより、平成21年4月1日において前期年金給付の受給権者がいない場合、次の順番による先順位のご遺族お一人に特別弔慰金が支給されます。

戦没者等の死亡当時のご遺族で

1. 平成21年4月1日までに戦病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
 2. 戦没者等の子
 3. 戦没者等の 父母 孫 祖父 兄弟姉妹
 - 戦没者等と生計関係を有していた方のうち、平成21年4月1日において婚姻していたとしても氏が変わっていない方、又は同日において遺族以外の方と養子縁組をしていない方に限りま
 4. 3以外の戦没者等の 父母 孫 祖父 兄弟姉妹
 - 戦没者等と生計関係を有していない方や、戦没者等と生計関係を有していたが3に該当しない方。
 5. 1から4以外の戦没者等の三親等内の親族
- 戦没者の死亡まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。
- 支給内容

平成21年度県政アンケートモニター募集

- 額面24万円、6年償還の記名国債
請求期間
平成21年4月1日から平成24年4月2日まで
請求窓口
町役場住民生活課
☎ 82 1111
1. 趣旨
地域における施策の浸透状況や問題の所在を把握し、県政に対する県民の声を幅広く聴き、今後の県政の円滑な推進に反映するため、アンケートモニターを募集する。
 2. 職務
県政に関するアンケート調査に回答する。
 3. 任期
平成21年9月1日、平成23年8月31日
 4. 応募資格
20歳以上の県内居住者で、

5. 謝礼等
毎月県政資料を提供するモニター業務に対する謝礼はしない
今回新たにモニターになった方には、「かごしまよかとこ100選」を5巻セットで贈呈する。
6. 応募方法
県庁広報課、県地域振興局本庁舎・支庁及び各市町村窓口等に備え付けの「募集リーフレット」のほか、はがき、ファックス、インターネットにより、必要事項を記入の上、応募する。

7. 募集期間
平成21年6月26日まで
 9. 募集人員 200名
 10. その他
選考結果は、応募者全員に通知する。
-
- ## 弁護士による講演会及び無料法律相談会
- 日時
平成21年7月6日(月)
講演会「相続と遺言」
午前9時～10時
無料法律相談会
午前10時～午後1時
場所
町生涯学習センター

内容
弁護士による講演会及び無料法律相談会です。法律に関することなら何でもご相談ください。予約は不要です。

問合せ先
町役場企画課
☎ 82 1111
-
- 8

「がんドック」実施のお知らせ

かねてより本町国民健康保険事業の推進にあたり、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。さて本町では、平成15年度より引き続き、国民健康保険事業の一環として下記により「がんドック」を実施します。

- 【検査項目】 全身PET検査・X線CT検査（胸、腹部）・血液検査（腫瘍マーカー）・尿潜血検査・便潜血検査・超音波検査（腹部）
- 【受診適用保険】 徳之島町国民健康保険の被保険者とする。
- 【年齢制限・人数】 40歳以上65歳以下（基準日：平成21年7月1日現在）
申し込み順20名とする。また、1世帯から1名とする。
- 【保険税の納税状況】 平成17年度～平成20年度に保険税の滞納がないこと。また、以前に受診した者は除く。
- 【補助額】 検査費用は100,000円になりますので、検査費用額のうち30,000円を補助します。（その他については自己負担となります）
- 【検査機関】 医療法人 慈風会 厚地記念クリニック PET画像診断センター（鹿児島市）
099-226-8871（fax） 099-226-8872
- 申し込みは、平成21年6月24日（火）より、本庁及び支所、保健福祉課（国保係）窓口で本人受付と致します。（印鑑をご持参下さい）
- 【問合せ先】 徳之島町役場 保健福祉課 国保係 82-1111（内線134）
花徳支所 国保係 84-0048
- 【受診期間】 平成21年7月1日～平成22年2月28日

国民年金保険料の納付が困難な時は免除制度をご利用ください

保険料免除制度	若年者納付猶予制度	学生納付督促制度												
失業などで所得が少なく納付が困難なとき	就職が困難で納付ができないとき	大学等に通っているとき												
役場・支所の年金担当に申請し社会保険事務所で前年所得などを審査して承認されると														
所得で4段階に異なります 毎月納付額	その期間保険料の納付が猶予されます。	その期間保険料の納付が猶予されます。												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">全額免除 0円</td> <td style="width: 25%;">1/4納付 3670円</td> <td style="width: 25%;">1/2納付 7330円</td> <td style="width: 25%;">3/4納付 11000円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">受け取る年金額</td> </tr> <tr> <td>1/2</td> <td>5/8</td> <td>3/4</td> <td>7/8</td> </tr> </table>	全額免除 0円	1/4納付 3670円	1/2納付 7330円	3/4納付 11000円	受け取る年金額				1/2	5/8	3/4	7/8	10年以内納付 30歳未満	10年以内納付 毎年申請（在学証明書が必要）
全額免除 0円	1/4納付 3670円	1/2納付 7330円	3/4納付 11000円											
受け取る年金額														
1/2	5/8	3/4	7/8											

未納のとき	加入期間未算定	加入期間算定
-------	---------	--------

国民年金は60歳までに免除期間も含めて最低25年（300月）以上の加入がなければ受給できません。60歳時点で300月に足りない時は、65歳までに任意加入して補うことができます。免除はできません。

6月の年金相談

県内の社会保険事務所では次の日程で年金相談窓口の休日開庁を実施します。この機会にご自身の年金についてご相談ください。

- 1日（月）8：30～19：00
- 8日（月）8：30～19：00
- 13日（土）9：30～19：00
- 15日（月）8：30～19：00
- 22日（月）8：30～19：00
- 29日（月）8：30～19：00

鹿児島社会保険事務所
TEL 099-8120-0166

奄美大島社会保険事務所
TEL 0997-52-4341

直接行けない方は、上記の電話番号にお問い合わせください。

徳之島の偉人紹介 ~その10~



もりしま

かくふさ

盛島 角房 (1886年亀津生まれ。1946年没)

蒙古独立運動家、蒙古連合自治政府首席、徳王顧問。
戦前の日本人で、蒙古独立運動に最初に参加した人、大陸の先駆者的な存在として日本の蒙古政策立案には不可欠の人物だった。

亀津尋常高等小学校卒業後、延岡中学校から東京高等師範に入学、国語、漢文を専攻。小学校の旧友徳三宝の柔道熱に引かれて講道館に通い四段の免許を取ったが、あきたらず台湾へ渡り、公学校の教師をしながら人生いかに生きるべきかを考え

た。

4年後、北京に行き、坂西利八郎中将の門下生となり、蒙古独立運動に命を捧げることにした。26歳の時であった。ラマ寺に入りラマ僧になり蒙古語を学んだ。

33歳の時、関東軍の特務機関員となり外蒙古の庫倫に入った。ここはロシア革命後、蒙古革命政府の首都となり日本人は追放された地である。

1938年、蒙古の徳王は日本を訪問、天皇に拝謁した。随員であったが徳王の師として角房は一斉に新聞で紹介された。徳王に書かした色紙を旧友の奥山八郎弁護士に送り旧交を深めた。42年、亀津小学校にらくだのぬいぐるみを贈り「どこにいても島を忘れないように」と児童に話した。貴族院での講演や著書など角房旋風は一世を風靡した。

(参考文献『鹿兒島先駆者の記録』)

平成21年経済センサス

基礎調査

平成21年7月1日(水)です

調査対象は
すべての
企業・事業所など

経済センサスは全国すべての事業所・企業を対象とした調査です。

これにより、日本の経済活動の実態を明らかにします。

6月下旬から7月上旬にかけて調査員が調査に伺いますので、ご協力をお願いいたします。